

みんなの新庁舎 第2回市民ワークショップを開催しました！

美濃加茂市

みんなの新庁舎
かわらばん vol.2

第2回市民
ワークショップ

7月下旬に開催した第1回市民ワークショップでは皆さんから市の役割についてご意見をいただきました。今回、新庁舎整備ロードマップに沿って、第2回市民ワークショップを開催しましたので、その結果をお知らせいたします。

第2回市民ワークショップのテーマである「新庁舎の役割」・「コンセプト」については、1,500人を対象とした市民アンケートでもお聞きし、市民全体の傾向を把握します。

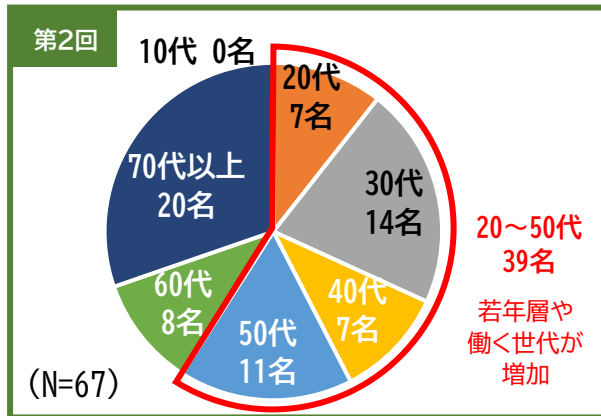
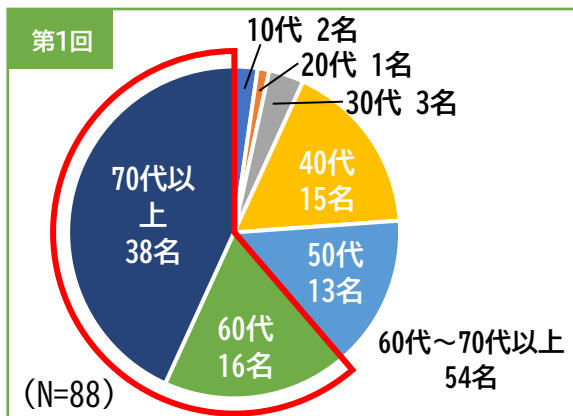
12月にはアンケート結果も踏まえ、STEP4「新庁舎の機能」・STEP5「新庁舎の複数候補地案」についての第3回市民ワークショップを行います。



【新庁舎整備ロードマップ】

第2回市民ワークショップ 実施状況・参加者数

- 第2回は9月24日(日)、25日(月)、30日(土)に開催しました。今回はSTEP2「新庁舎の役割」、STEP3「新庁舎のコンセプト」をテーマに、事前応募いただいた合計67名の参加者のみなさんと意見交換を行いました。
- 第2回は、民間の店舗などにもポスターを貼り、より幅広い世代の方にお越しいただけるよう周知した結果、第1回と比較し、若年層や働く世代が増加しました。



STEP2 「新庁舎の役割」 概要

- 第1回市民ワークショップでいただいた「市の役割」についてのご意見をベースに、新庁舎に必要な役割を考えました。

前回 ■ 第1回市民ワークショップの結果「市の役割」

- 市民に寄り添い、まもる行政の存在**
市と市民の協働・声が届く・福祉・厚生・多文化共生・議会
- 地域のまとまり**
自治会・まちづくり協議会・人口減による機能低下への対応・まちづくり意識
- 魅力ある市をつくる**
こども・若者・挑戦する人・文化や自然との共生・人口増・地域の盛り上げ・憩い・交流
- 産業振興**
企業・農業・地元産業・税収アップ・雇用
- 安心安全なまち**
防災・情報が得られる・生活を守る・命を守る
- 便利なまち**
DX(デジタル化)推進・交通・連携・スムーズな行政サービス

STEP2 全体の傾向

- 「新庁舎の役割」について、窓口対応や相談機能の充実に関するご意見、市職員の職場環境の向上に関するご意見、災害時の拠点としての対応や情報提供に関するご意見、および連絡所の機能強化に関するご意見が多く出されました。
- 「機能を一か所に集中する⇔機能を分散する」、「まちのシンボルとする⇔建設費用を抑えた庁舎とする」、「交流の場とする⇔コンパクトに小さくする」等、相反する意見も出されました。

代表的なご意見は裏面⇒

新庁舎整備の最新情報はこちら <https://minokamochosha.jp>

発行者:美濃加茂市総務部新庁舎整備推進課



みんなの新庁舎
ポータルサイト

今回 STEP2【代表的なご意見】(抜粋)

- こどもや高齢者、外国籍の方、障がいのある方など、どんな人でも受け入れられる
- 色々な事情がある方のプライバシーが守られて、安心して相談することができる
- 新庁舎に行かなくても、申請等の手続きがオンラインでできる
- 市職員が働きやすく、生き生きできる
- 用事が無くても、誰もが集い交流ができる
- まちのシンボルとなる、市の中心的存在
- 柔軟に使える庁舎で、時代や環境の変化に対応できる
- 日常・災害時のどちらでも情報提供ができる
- 必要最低限の行政機能を持ち、コストがかからない
- 災害時の拠点として、緊急時の対応ができる

STEP3 「新庁舎のコンセプト」 概要

- ・ 新庁舎の役割を果たすためのコンセプトを考えました。(下記抜粋)

STEP3 全体の傾向

- ・ すべての市民のサポートを円滑に行うことや、様々な人が共存するため、人々が交流することが求められていました。
- ・ 一方で庁舎は必要最低限の機能を持たせ、交流拠点は他の公共施設とする意見も出されました。

STEP3【代表的なご意見】(抜粋)

- いつでもだれでも相談できる頼りになる新庁舎
- 気軽に集いつながる新庁舎(行政サービス以外の利用を含む)
- 新しい時代に対応できる未来を見据えた新庁舎
- 市民の暮らしを守る安心安全な新庁舎
- 必要十分でシンプルなコンパクト新庁舎(交流拠点は他の公共施設へ)
- みんなが使いやすい心と身体のパリアフリー新庁舎
- 美濃加茂の自然を活かした心地よい新庁舎
- 地域の中心となる、シンボリックな新庁舎
- 職員が生き生きできる働きやすい新庁舎

第2回市民ワークショップまとめ

第2回市民ワークショップのご意見をまとめると、以下の通りです。

- ・ すべての市民が円滑に行政サービスや相談が受けられること(「市民に寄り添い、まもる行政」・「便利なまち」の実現)や、災害時の拠点となること(「安心安全なまち」の実現)、これらを担う職員が働きやすい環境であることが求められています。
- ・ 様々な人が共存するため、人々が交流することも求められている一方、「シンプルで必要最低限」といった、相反する意見も出されています。
新庁舎はどこまでの役割を担うべきか、連絡所の機能強化やほかの場所で補えることはないか、などについても考える必要があります。